

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
フォローアップ報告書（大会開催後）

（IBC/MPC）

令和 4 年 2 月

東 京 都

目 次

1. 東京 2020 大会の正式名称.....	1
2. 東京 2020 大会の目的.....	1
3. 東京 2020 大会の概要.....	2
4. IBC/MPC の計画の目的及び内容	4
4.1 目 的.....	4
4.2 内 容.....	4
4.3 IBC/MPC の計画の策定に至った経過	14
5. 調査結果の概略.....	15
6. フォローアップの実施者.....	15
7. その他.....	15
7.1 東京 2020 大会に係る実施段階環境アセスメント及びフォローアップの全対象事業に ついての実施段階環境アセスメント及びフォローアップの経過	15
7.2 調査等を実施した者の氏名及び住所並びに調査等の全部又は一部を委託した場合に あつては、その委託を受けた者の氏名及び住所	16
8. 調査の結果.....	19
8.1 大気等.....	19
8.2 騒音・振動.....	22
8.3 交通渋滞.....	25
8.4 交通安全.....	28
8.5 その他の項目に係るミティゲーションの実施状況	31

1. 東京 2020 大会の正式名称
2. 東京 2020 大会の目的

1. 東京2020大会の正式名称

第 32 回オリンピック競技大会（2020／東京）

東京 2020 パラリンピック競技大会

2. 東京2020大会の目的

2.1 大会ビジョン

東京 2020 大会の開催を担う公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「大会組織委員会」という。）は、2015 年 2 月に国際オリンピック委員会、国際パラリンピック委員会に提出した「東京 2020 大会開催基本計画」において以下の大会ビジョンを掲げている。

スポーツには、世界と未来を変える力がある。
1964 年の東京大会は日本を大きく変えた。2020 年の東京大会は、
「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、
「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、
「そして、未来につなげよう（未来への継承）」を 3 つの基本コンセプトとし、
史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

2.2 都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020年に向けた実行プラン～

東京都は、平成 28 年 12 月に策定した「2020 年に向けた実行プラン」において、「都民ファーストの視点で 3 つのシティを実現し、新しい東京をつくる」ことを示している。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、「東京 2020 大会」という。）の成功に向けた取組を分野横断的な政策の展開に位置付け、「東京 2020 大会の成功は、東京が持続可能な成長をしていくための梃子であり、そして、ソフト・ハード面での確かなレガシーを次世代に継承していかなければならない」としている。

東京 2020 大会実施段階環境アセスメント（以下、「本アセスメント」という。）の実施にあたっては、適宜「2020 年に向けた実行プラン」を参照し進めていく。

都民FIRST(ファースト)の視点で、3つのシティを実現し、新しい東京をつくる

東京 2020 大会の成功とその先の東京の未来への道筋を明瞭化

【計画期間】2017（平成 29）年度～2020（平成 32）年度

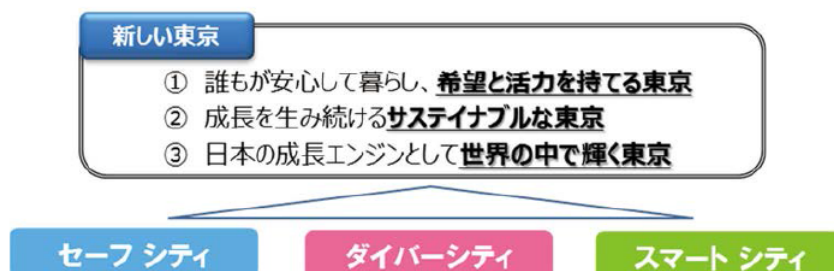


図2. 2-1 「2020年に向けた実行プラン」における3つのシティ

3. 東京2020大会の概要

3.1 大会の概要

大会組織委員会は、東京2020大会のオリンピック競技大会を当初は2020年7月24日から8月9日まで開催し、また、パラリンピック競技大会を8月25日から9月6日まで開催する予定としていたが、オリンピック競技大会を2021年7月23日から8月8日まで、パラリンピック競技大会は2021年8月24日から9月5日までとする新開催日程で実施された。

実施競技数は、オリンピック 33 競技、パラリンピック 22 競技である。

3.2 東京2020大会の環境配慮

大会組織委員会は、「東京 2020 大会開催基本計画（2015 年 2 月策定）」の中で、東京 2020 大会は、単に 2021 年に東京で行われるスポーツの大会としてだけでなく、2021 年以降も含め、日本や世界全体に対し、スポーツ以外も含めた様々な分野でポジティブなレガシーを残す大会として成功させなければならないとし、「東京 2020 アクション&レガシープラン 2016（2016 年 7 月策定）」において、街づくり・持続可能性に関する以下のレガシーとアクションを示した。

表3.2-1 街づくりに関するレガシーとアクション

レガシー	アクション
「ユニバーサル社会の実現・ユニバーサルデザインに配慮した街づくり」	競技施設、鉄道駅等のユニバーサルデザインの推進、アクセシブルな空間の創出等、ユニバーサルデザインに配慮した街の実現
「魅力的で創造性を育む都市空間」	都市空間の賑わいの創出、公園・自然環境等の周辺施設との連携
「都市の賢いマネジメント」	I C Tの活用、エリアマネジメント活動の活性化等
「安全・安心な都市の実現」	安全・安心のための危機管理体制の構築

表3.2-2 持続可能性に関するレガシーとアクション

レガシー	アクション
「持続可能な低炭素・脱炭素都市の実現」	気候変動対策の推進、再生可能エネルギーなど持続可能な低炭素・脱炭素エネルギーの確保
「持続可能な資源利用の実現」	資源管理・3 Rの推進
「水・緑・生物多様性に配慮した快適な都市環境の実現」	生物多様性に配慮した都市環境づくりや大会に向けた暑さ対策の推進
「人権・労働慣行等に配慮した社会の実現」	調達等における人権・労働慣行等に配慮した取組の推進
「持続可能な社会に向けた参加・協働」	環境、持続可能性に対する意識の向上、参加に向けた情報発信・エンゲージメントの推進

また、大会組織委員会は、東京 2020 大会を持続可能性に配慮した大会とするため、大会関係者の拠り所となる「持続可能性に配慮した運営計画 第一版（2017 年 1 月）」を策定した。本運営計画において、東京 2020 大会が取り組む持続可能性に関する主要テーマを、「気候変動（カーボンマネジメント）」「資源管理」「大気・水・緑・生物多様性等」「人権・労働・公正な事業慣行等への配慮」「参加・協働、情報発信（エンゲージメント）」の 5 つとしている。

2018 年 6 月には、「持続可能性に配慮した運営計画 第二版」を策定し、持続可能性に配慮した競技大会を目指す意義として SDGs への貢献を明確化している。「持続可能性に配慮した運営計画 第二版」の基本的な考え方は、表 3.2-3 に示すとおりである。

表 3.2-3 「持続可能性に配慮した運営計画 第二版」の基本的な考え方

基本理念	・世界最大規模のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックは世界規模の影響 ・東京 2020 大会は、大会の準備運営に持続可能性を組み込み、その責任を果たすことで貢献 ・大会の持続可能性のコンセプト「be better, together / より良い未来へ、ともに進もう。」
持続可能性の主要テーマ	持続可能性の 5 つの主要テーマは、環境・経済・社会の側面に統合的に取り組むことから、SDGs の目標等の全体に幅広く関連
関係組織	組織委員会を核として、都、国、関係自治体、スポンサー等との連携の下に実施
運営計画の適用範囲	主体として直接管理する範囲に加え、影響を及ぼすことができる範囲についても考慮
持続可能な発展の統治原則	持続可能性における基本的な価値観である 4 つの統治原則（持続可能性への責任、包摂性/利害関係者の参画、誠実性、透明性）を尊重
マネジメントの仕組み、ツール	取組を確実に実施するため、イベントの持続可能性をサポートするための国際規格である ISO20121 の導入や「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用等を推進

4. IBC/MPCの計画の目的及び内容

4.1 目 的

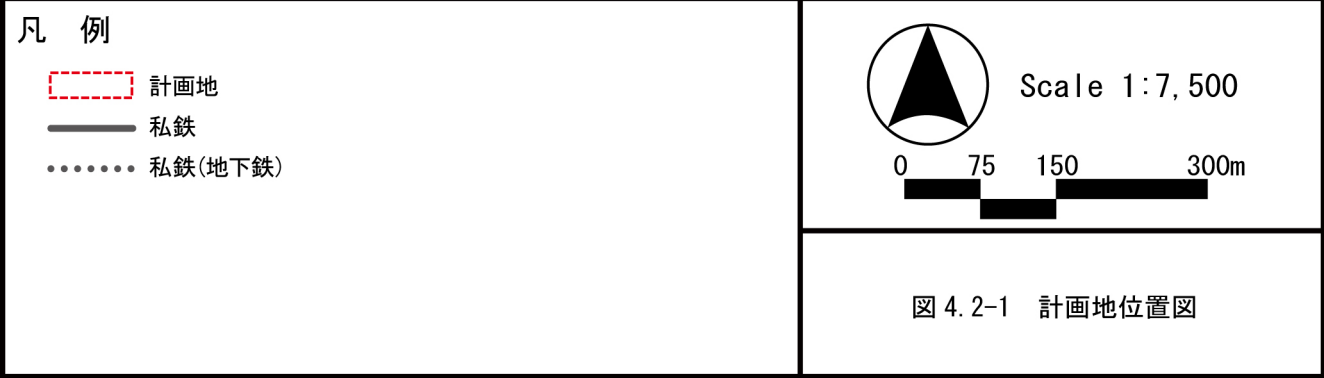
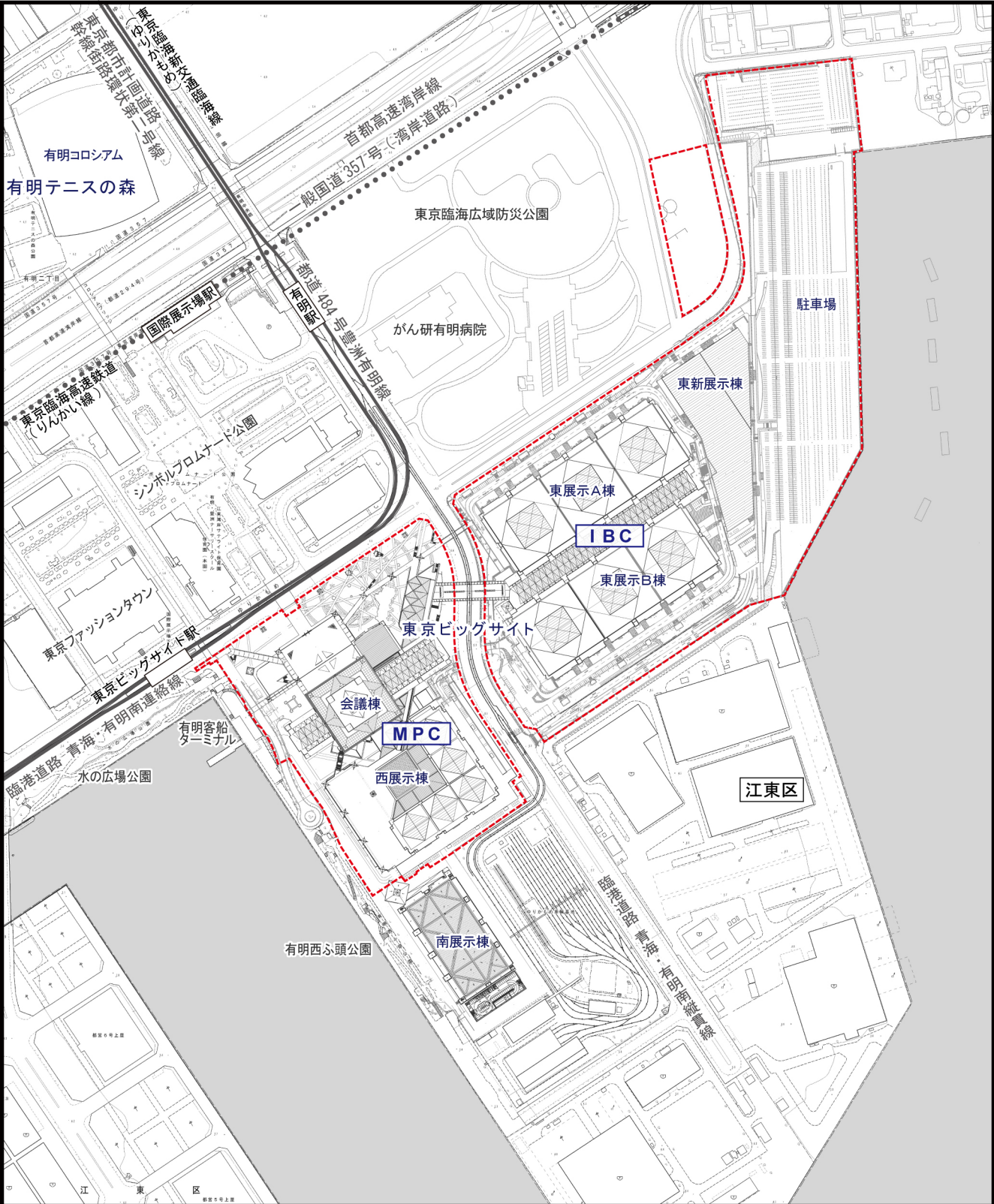
本施設は、組織委員会が東京ビッグサイトの一部を一時的に借り受け、東京2020大会時のIBC（International Broadcast Centre：国際放送センター）、MPC（Main Press Centre：メインプレスセンター）として必要な仮設施設を整備した。

4.2 内 容

4.2.1 位 置

計画地の位置は、図 4.2-1 及び写真 4.2-1 に示すとおり、IBC は東京都江東区有明三丁目 10 番、MPC は東京都江東区有明三丁目 11 番にあり、IBC 及び MPC（南展示棟を含む）を合わせた敷地面積は約 387,000m²*である。

* MPCについては、IBCの配置変更に伴って会議棟と西展示棟に配置することとした。





凡 例

-  計画地
 私鉄
 私鉄(地下鉄)



Scale 1:7,500

0 75 150 300m

写真 4.2-1 計画地周辺の航空写真

4.2.2 事業の基本計画

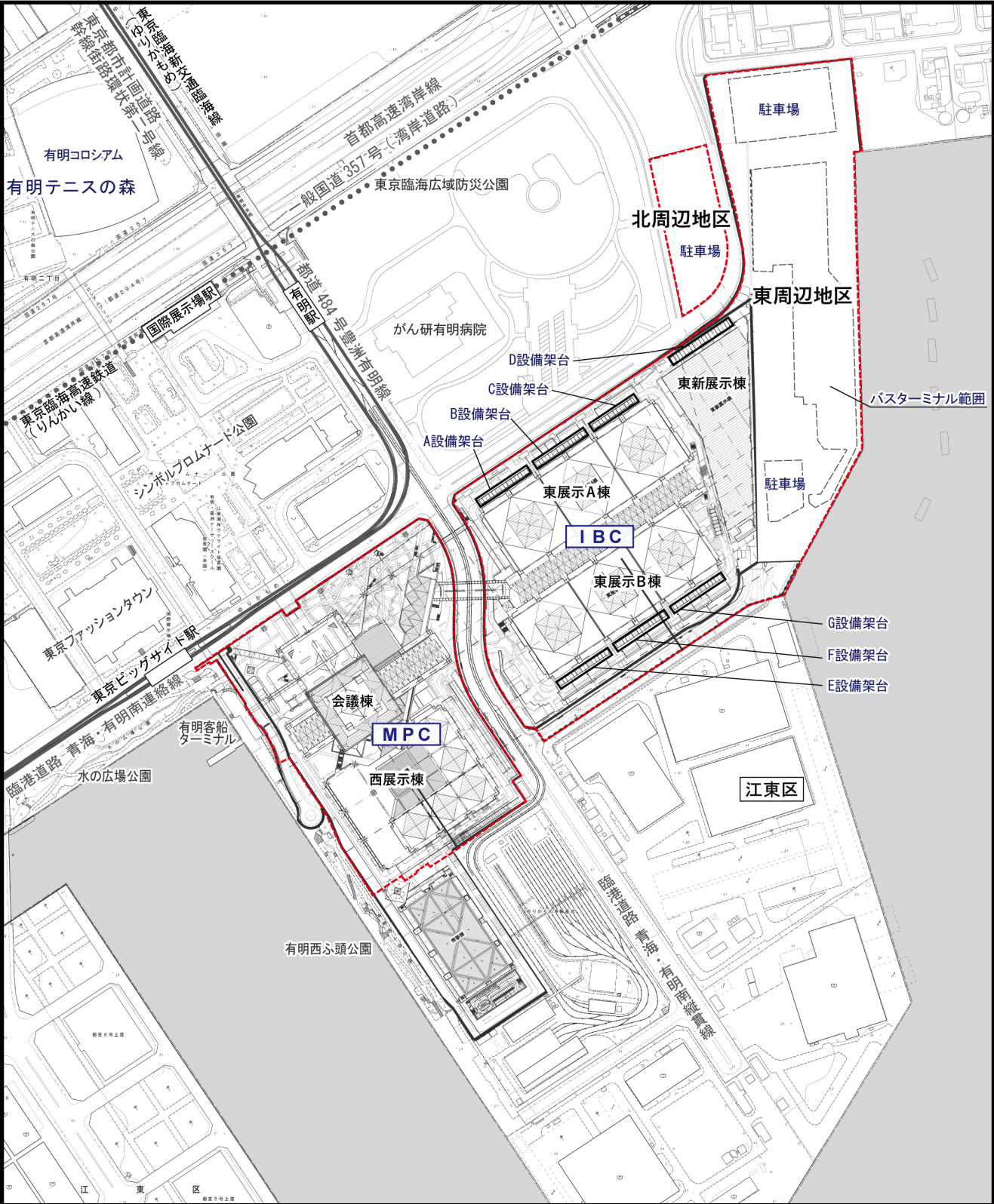
大会時の配置図は、図 4.2-2 に示すとおりである。IBC は既存の東展示棟 A 棟・B 棟及び東新展示棟、MPC は既存の会議棟及び西展示棟に配置することとし、既存施設を改修し、諸室を設置した。バスターミナルを東周辺地区等に整備したほか、関係者の駐車場を東周辺地区及び北周辺地区等に合計約 1,000 台整備した。

また、敷地内にプレハブ、テント及びユニットハウス等の仮設施設を配置したほか、東展示棟及び東新展示棟の周囲には、受変電設備、空調機置場等となる設備架台を設置した。

主な仮設施設である設備架台の概要は、表 4.2-1 に、断面図は、図 4.2-3(1)～(4)に示すとおりである。なお、評価書時点で計画していた H 設備架台の設置は行わなかった。

表4.2-1 主な仮設施設（設備架台）の概要

項 目	A 設備架台 B 設備架台 F 設備架台	C 設備架台	D 設備架台	E 設備架台 G 設備架台
幅	76.0m	66.0m	90.0m	76.0m
奥 行	9.0m	9.0m	9.0m	9.0m
最 高 高 さ	19.5m	19.5m	20.0m	13.55m
階 数	地上 3 階	地上 3 階	地上 3 階	地上 2 階
構 造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造



凡 例

- 計画地
- 私鉄
- 私鉄(地下鉄)

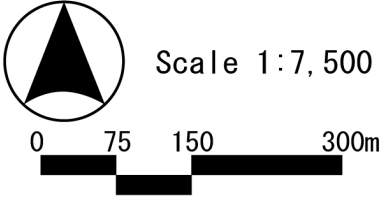


図 4.2-2 配置計画図

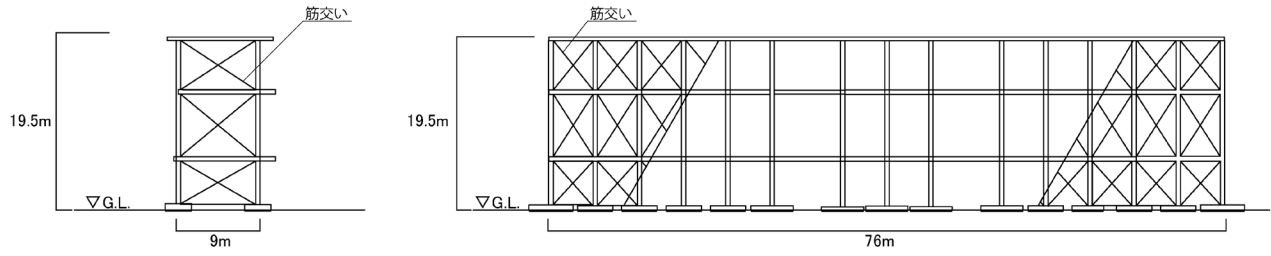


図 4.2-3(1) 断面図 (A 設備架台、B 設備架台、F 設備架台)

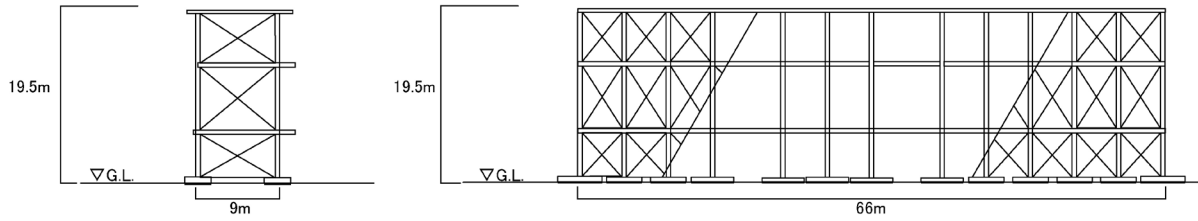


図 4.2-3(2) 断面図 (C 設備架台)

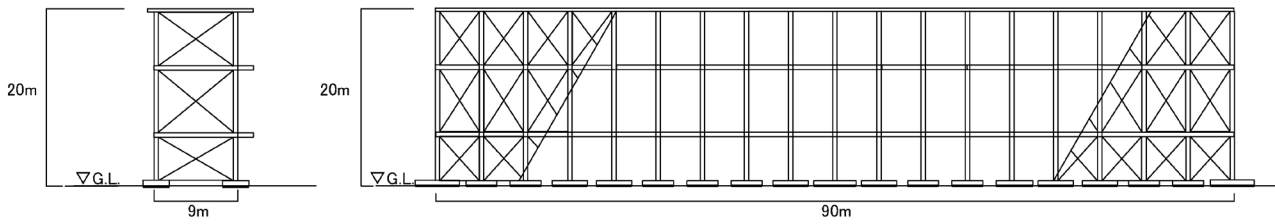


図 4.2-3(3) 断面図 (D 設備架台)

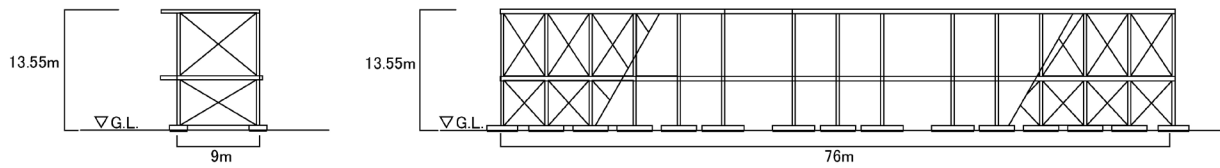


図 4.2-3(4) 断面図 (E 設備架台、G 設備架台)

4.2.3 施工計画

(1) 工事工程

東京 2020 大会前の仮施設整備については、2019 年に着工し、2021 年 6 月まで行った。また、東京 2020 大会後の仮施設の解体工事は、大会後から 2021 年 12 月までの約 3 か月であった。工事工程は、表 4.2-2 に示すとおりである。

表4.2-2 全体工事工程

工種/工事月		2019 年				2020 年				2021 年			
		3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
IBC 整備	既存改修工事												
	設備架台工事												
	その他仮設工事												
	解体工事												
MPC 整備	既存改修工事												
	その他仮設工事												
	解体工事												

注)点線の工事工程は、先行工事（電源等のインフラ整備）を示す。

(2) 施工方法の概要

1) IBC整備

ア. 既存改修工事

既存の東展示棟A棟・B棟及び東新展示棟の改修や設備工事を行った。

イ. 設備架台工事

設備架台の直接基礎工事、鉄骨組立、設備工事を行ったほか、受変電設備、配線、分電盤等の設置や空調機器、換気設備、ダクト等の設置を行った。また、設備架台上部に避雷針の設置を行った。

ウ. その他仮設工事

その他の仮設施設として、プレハブ、テントの設置及びセキュリティフェンスの設置等を行ったほか、バスターミナル整備として、バースの設置や区画線工事を行った。

エ. 解体工事

仮設施設を撤去し、既存施設の原状回復を行った。また、除伐した外構部の緑地の復旧を行った。

2) MPC整備

ア. 既存改修工事

既存の会議棟及び西展示棟の改修や設備工事を行った。

イ. その他仮設工事

その他の仮設施設として、プレハブ、テント、ユニットハウス及びセキュリティフェンスの設置等を行った。

ウ. 解体工事

仮設施設を撤去し、既存施設の原状回復を行った。

(3) 工事用車両

工事用車両の主な走行ルートは、図 4.2-4 に示すとおりである。

工事用車両の走行に伴う沿道環境への影響を極力小さくするため、工事用車両は、主に首都高速湾岸線及び一般国道 357 号（湾岸道路）を利用し、都道 484 号豊洲有明線、臨海道路青海・有明南連絡線を通り、計画地へ出入場した。大会後の工事用車両の出入り台数は大型車 110 台/16h、小型車 169 台/16h の合計 279 台/16h あり、大型車は 9 時台に多く出入りしていた。また、都道 304 号日比谷豊洲埠頭東雲町線（有明通り）の交通量は、大型車 3,473 台/16h、小型車 9,767 台/16h の合計 13,240 台/16h であった。出入り車両台数は、大会前のフォローアップ調査における大型車 96 台/16h を若干上回ったが、小型車 302 台/16h は約半分、合計 398 台/16h を下回り、都道 304 号日比谷豊洲埠頭東雲町線（有明通り）の交通量は、大型車 4,691 台/16h、小型車 9,398 台/16h の合計 14,089 台/16h を下回っており、周辺交通量に対して大きな影響を及ぼしていないものとする。

(4) 建設機械

各工種において使用する主な建設機械は、表 4.2-3 に示すとおりである。

工事に使用する建設機械は、周辺環境への影響に配慮して、排出ガス対策型建設機械（第 2 次基準値以上）及び低騒音型の建設機械を積極的に採用するとともに、不要なアイドリングの防止に努める等、排出ガスの削減及び騒音の低減に努めた。

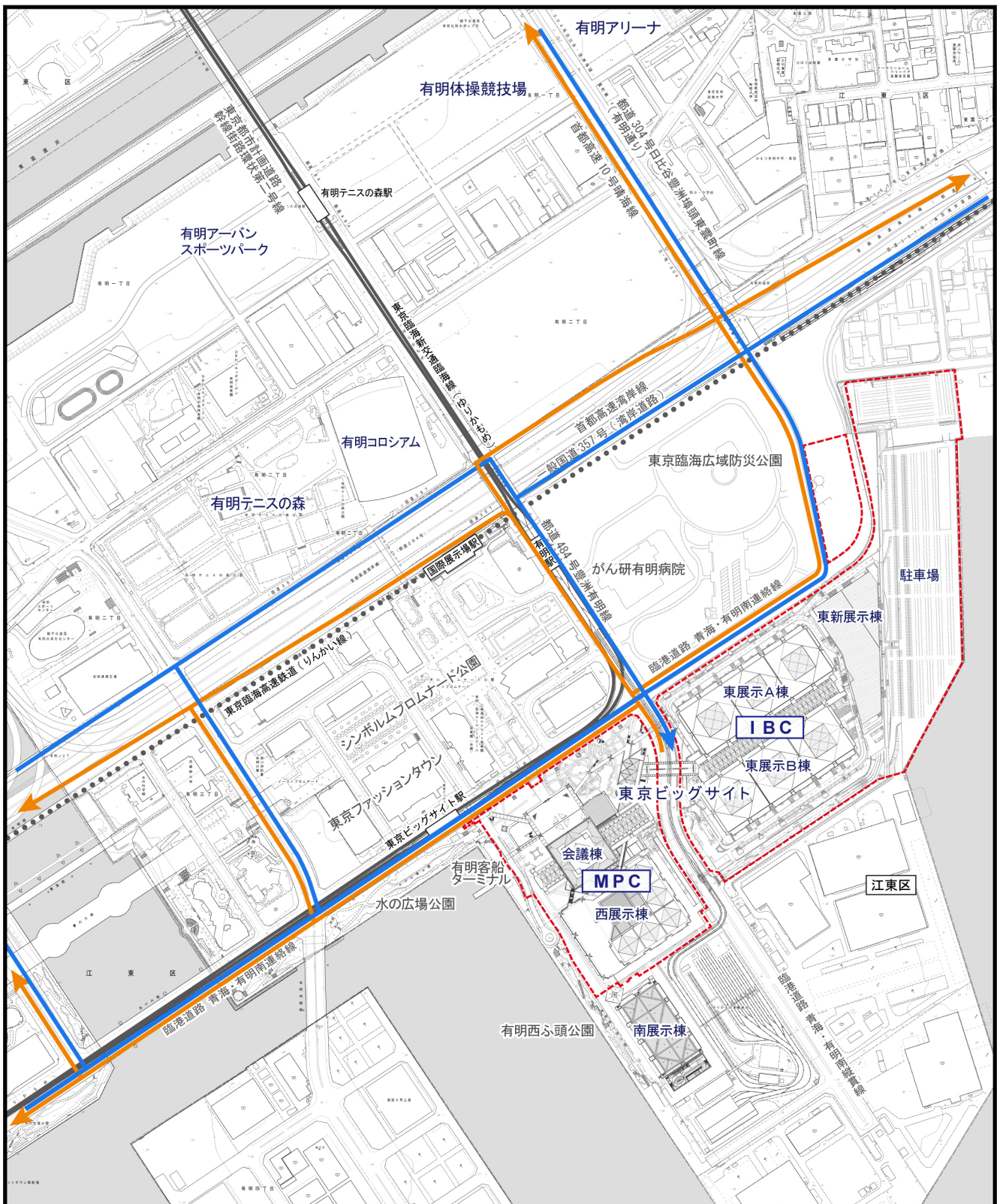
表 4.2-3 主な建設機械

工 種	主な建設機械
既存改修工事	ラフタークレーン
設備架台工事	ラフタークレーン、バックホウ
その他仮設工事	ラフタークレーン、バックホウ、アスファルトフィニッシャー
解体工事	ラフタークレーン、バックホウ（解体仕様）

(5) 工事中の廃棄物処理計画

建設工事に伴い発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）、資源の有効な利用の促進に関する法律（平成 3 年法律第 48 号）、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成 12 年法律第 104 号）等に基づき、再生利用可能な廃棄物については積極的に再資源化に努め、再生利用が困難なものについては適切な処理を行った。

なお、大会後の仮設施設の解体工事により発生した特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材 A）及び建設廃棄物（金属くず、廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）、廃石膏ボード、紙くず、その他がれき類等）は、現場外に搬出し、再生資源としての利用促進を行った。



凡 例

- 計画地
- 私鉄
- 私鉄(地下鉄)
- ➡ 工事用車両集中ルート
- ➡ 工事用車両発生ルート



Scale 1:10,000



図4.2-4

工事用車両の走行ルート

4.2.4 環境保全に関する計画等への配慮の内容

(1) 環境保全に関する計画

本事業にかかわる主な環境保全に関する上位計画としては、「東京都環境基本計画」、「東京都自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画」、「江東区環境基本計画」がある。環境保全に関する計画等への配慮事項は、表 4.2-4 に示すとおりである。

表4.2-4 環境保全に関する計画等への配慮の内容

計画等の名称	計画等の概要	本事業で配慮した事項
東京都環境基本計画 (平成28年3月)	・「世界一の環境先進都市・東京」の実現 ◆3R・適正処理の促進と「持続可能な資源利用」の推進 ◆快適な大気環境、良質な土壌と水循環の確保	・規制速度を遵守した。 ・工事用車両の走行ルートは、沿道環境への配慮のため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用した。 ・工事用車両の走行ルートは、有明北地区の他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用した。
東京都自動車排出窒素酸化物及び自動車排出粒子状物質総量削減計画 (平成25年7月)	・低公害・低燃費車の普及促進、エコドライブの普及促進、交通量対策、交通流対策、局地汚染対策の推進等	
江東区環境基本計画 (平成27年3月)	本計画では、施策の体系として、以下の6つの柱を示している。 ・地球温暖化・エネルギー対策の推進～KOTO 低炭素プラン～ ・循環型社会の形成 ・自然との共生 ・環境に配慮した快適なまちづくりの推進 ・安全・安心な生活環境の確保 ・環境教育及びパートナーシップの推進	

(2) 持続可能性に配慮した運営計画

組織委員会は、東京 2020 大会における持続可能性への配慮を最大化し、大会開催が持続可能な開発に貢献するため、持続可能性に配慮した運営計画を策定した。

持続可能性に配慮した運営計画での取組事項は、表 4.2-5 に示すとおりである。

表4.2-5 環境保全に関する計画等への配慮の内容

計画等の名称	計画等の概要	本事業で取り組む事項
持続可能性に配慮した運営計画第二版 (平成30年6月)	・東京2020大会の持続可能性コンセプト Be better, together より良い未来へ、ともに進もう。 ◆気候変動 ◆資源循環 ◆大気・水・緑・生物多様性等	・規制速度を遵守した。 ・工事用車両の走行ルートは、沿道環境への配慮のため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用した。 ・工事用車両の走行ルートは、有明北地区の他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用した。

4.3 IBC/MPC の計画の策定に至った経過

立候補ファイル時点では、IBCを東京ビッグサイトの東展示棟及び西展示棟に配置し、MPCを西展示場棟南側に増築して配置する計画としていた。また、会議棟については、IBC及びMPC共用エリアとして使用し、東展示棟の一部については、レスリング、フェンシング、テコンドーの競技会場を配置する予定であった。

その後、会場計画の再検討の結果として、レスリング、フェンシング、テコンドーの競技会場を東京ビッグサイトから幕張メッセに変更するとともに、IBCについては、東展示棟及び東新展示棟に集約して配置することとした。また、MPCについては、IBCの配置変更に伴って会議棟と西展示棟に配置することとした。

5. 調査結果の概略

本フォローアップ調査では、ミティゲーションの実施状況のみ確認した。

6. フォローアップの実施者

〔実施者〕

名 称：東京都

代表者：東京都知事 小池 百合子

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

7. その他

7.1 東京 2020 大会に係る実施段階環境アセスメント及びフォローアップの全対象事業についての実施段階環境アセスメント及びフォローアップの経過

IBC/MPC 実施段階環境アセスメント及びフォローアップの経過は、表 7.1-1 に示すとおりである。

また、フォローアップの進捗状況は、表 7.1-2 に示すとおりである。

表 7.1-1 IBC/MPC の実施段階環境アセスメント及びフォローアップの経過

実施段階環境アセスメントの経過	
環境影響評価調査計画書が公表された日	平成 26 年 3 月 28 日
意見を募集した日	平成 26 年 3 月 28 日～平成 26 年 4 月 16 日
都民の意見	82 件 ^{注)}
調査計画書審査意見書が送付された日	平成 26 年 5 月 29 日
環境影響評価書案が公表された日	平成 30 年 7 月 5 日
意見を募集した日	平成 30 年 7 月 5 日～平成 30 年 8 月 3 日
都民等の意見	1 件
評価書案審査意見書が送付された日	平成 30 年 10 月 17 日
環境影響評価書が公表された日	平成 30 年 12 月 13 日
フォローアップ計画書が公表された日	平成 30 年 12 月 14 日
フォローアップ報告書（大会開催前）が公表された日	令和 2 年 1 月 14 日
フォローアップ報告書（大会開催後）が公表された日	令和 4 年 2 月 15 日

注) 環境影響評価調査計画書は、都内の全会場等を対象として、意見募集を実施した。

7.2 調査等を実施した者の氏名及び住所並びに調査等の全部又は一部を委託した場合にあっては、その委託を受けた者の氏名及び住所

〔作成者〕

名 称：東京都

代表者：東京都知事 小池 百合子

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

〔受託者〕

名 称：日本工営株式会社

代表者：代表取締役社長 新屋 浩明

所在地：東京都千代田区麹町 5 丁目 4 番地

表7.1-2 フォローアップの進捗状況

年・月 工事及び調査内容 工事着工からの月数				2018年度(平成30年度)				2019年度(令和元年度)												2020年度(令和2年度)												2021年度(令和3年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
IBC整備	既存改修工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					</

凡 例

○ : 調査時点

●—● : 継続調査

→ : 報告

8. 調査の結果

8.1 大気等

8.1.1 調査事項

調査事項は、表 8.1-1 に示すとおりである。

表8.1-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	・工事用車両の走行ルートは、沿道環境への配慮のため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用する計画とする。 ・工事用車両に付着した泥土等が場外に飛散しないよう、必要に応じて出入口付近に洗車設備を設けてタイヤ等の洗浄を行う等、土砂・粉じんの飛散防止に努める計画としている。 ・低公害型の工事用車両を極力採用し、良質な燃料を使用するとともに、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底する計画としている。 ・施工業者に対する指導を徹底し、工事用車両の過積載を防止する計画としている。 ・工事作業員の通勤に際しては、極力公共交通機関を利用する等通勤車両の削減に努めるよう指導する計画としている。 ・計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、通勤をはじめ一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮するとともに、交通渋滞とそれに伴う大気汚染への影響の低減に努める。また、適宜清掃員を配置し、清掃に努める計画としている。 ・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森（有明コロシアム改修工事を含む）を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。

8.1.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.1.3 調査手法

調査手法は、表 8.1-2 に示すとおりである。

表8.1-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項		工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の大気中における濃度
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

8.1.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

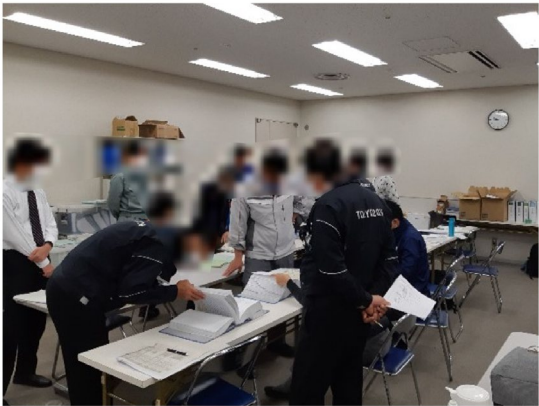
1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.1-3(1) 及び(2)に示すとおりである。なお、大気等に関する問合せはなかった。

表8.1-3(1) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・工事用車両の走行ルートは、沿道環境への配慮のため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用する計画とする。
実施状況	朝礼等を通じて、運転者には、湾岸道路の使用など走行ルートの限定に関して事前指導し、大気への影響の低減に努めた。  朝礼の様子
ミティゲーション	・工事用車両に付着した泥土等が場外に飛散しないよう、必要に応じて出入口付近に洗車設備を設けてタイヤ等の洗浄を行う等、土砂・粉じんの飛散防止に努める計画としている。
実施状況	本工事では、大規模な土工事は行わなかったことから、出入口付近に洗車設備を設置しなかった。なお、工事用車両が場外に出る際には出入口付近に配した交通整理員が泥土の付着の有無について目視で確認を行ったが、泥土が付着する車両は確認されなかった。
ミティゲーション	・低公害型の工事用車両を極力採用し、良質な燃料を使用するとともに、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底する計画としている。
実施状況	工事用車両には、可能な限り最新の燃料基準達成車を採用するとともに、定期的な整備点検の実施、良質な燃料の使用を指導した。 朝礼等を通じてアイドリングストップの厳守等、運転者へ指導を行うとともに、アイドリングストップ厳守に関わる掲示を行い、周知・徹底を図った。  アイドリングストップの掲示

表8.1-3(2) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・施工業者に対する指導を徹底し、工事用車両の過積載を防止する計画としている。
実施状況	朝礼等で工事用車両の過積載を防止するよう指導を行った。
ミティゲーション	・工事作業員の通勤に際しては、極力公共交通機関を利用する等通勤車両の削減に努めるよう指導する計画としている。
実施状況	朝礼等で工事作業員の通勤には極力公共交通機関を利用するよう指導を行った。
ミティゲーション	・計画地からの工事用車両の出入りに際しては交通整理員を配置し、通勤をはじめ一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮するとともに、交通渋滞とそれに伴う大気汚染への影響の低減に努める。また、適宜清掃員を配置し、清掃に努める計画としている。
実施状況	工事用車両の出入口付近に、交通整理員を配置し、工事用車両の出入りに際して通勤をはじめ一般歩行者の通行に支障を与えないよう工事用車両を誘導した。また、適宜、歩道の清掃を行った。  交通整理員  歩道の清掃の様子
ミティゲーション	・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森（有明コロシアム改修工事を含む）を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。
実施状況	工事に先立ち、周辺の教育施設等への工事説明を行い、理解を求め、場外での駐車禁止を徹底した。 工程会議等を通じて、工事用車両が一時的に集中しないよう工事用車両の走行ルートの運行管理の徹底に努めた。また、朝礼等を通じて、工事用車両が集中しないよう改めて周知・徹底した。  工程会議の様子

8.2 騒音・振動

8.2.1 調査事項

調査事項は、表 8.2-1 に示すとおりである。

表 8.2-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	・規制速度を遵守する計画である。 ・工事用車両の走行ルートは、沿道環境への配慮のため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用する計画とする。 ・低公害型の工事用車両を極力採用し、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底する。 ・資材の搬出入に際しては、走行ルートの検討、安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める計画としている。 ・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森（有明コロシム改修工事を含む）を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。

8.2.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.2.3 調査手法

調査手法は、表 8.2-2 に示すとおりである。

表 8.2-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項		工事用車両の走行に伴う 道路交通騒音	工事用車両の走行に伴う 道路交通振動
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。	
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした	
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。	

8.2.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.2-3(1) 及び(2)に示すとおりである。なお、騒音・振動に関する問合せはなかった。

表8.2-3(1) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション 実施状況	・規制速度を遵守する計画である。 朝礼等を通じて、運転者には、安全走行・規制速度の遵守に関して事前指導し、騒音及び振動の低減に努めた。
 朝礼の様子	
ミティゲーション 実施状況	・工事用車両の走行ルートは、沿道環境への配慮のため、沿道に住居等が比較的存在しない湾岸道路等を極力利用する計画とする。 朝礼等を通じて、運転者には、湾岸道路の使用など走行ルートの限定に関して事前指導し、騒音及び振動の低減に努めた。
ミティゲーション 実施状況	・低公害型の工事用車両を極力採用し、適切なアイドリングストップ等のエコドライブ及び定期的な整備点検の実施を周知・徹底する。 工事用車両には、可能な限り自動車単体騒音規制（平成 10～13 年規制）に適合した車両を採用するとともに、定期的な整備点検の実施を指導した。 朝礼等を通じてアイドリングストップの厳守等、車両運転者へ指導を行うとともに、アイドリングストップ厳守に関わる掲示を行い、周知・徹底を図った。
 アイドリングストップの掲示	

表8.2-3(2) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・資材の搬出入に際しては、走行ルートの検討、安全走行等により、騒音及び振動の低減に努める計画としている。
実施状況	朝礼等を通じて、運転者には、走行ルートの限定及び安全走行に関して事前指導した。また、事前に搬入出車両台数及び時間帯を確認・調整することにより車両の集中を避け、平準化を図るとともに、騒音及び振動の低減に努めた。
ミティゲーション	・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森（有明コロシアム改修工事を含む）を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。
実施状況	工事に先立ち、周辺の教育施設等への工事説明を行い、理解を求め、場外での駐車禁止を徹底した。 工程会議等を通じて、工事用車両が一時的に集中しないよう工事用車両の走行ルートの徹底に努めた。また、朝礼等を通じて、工事用車両が集中しないよう改めて周知・徹底した。  工程会議の様子

8.3 交通渋滞

8.3.1 調査事項

調査事項は、表 8.3-1 に示すとおりである。

表 8.3-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	・工事用車両の走行ルートは、有明北地区の他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するため、沿道に比較的住居等が存在しない湾岸道路等を極力利用する計画とする。 ・工事用車両の集中稼働を行わないよう、可能な限り工事工程の平準化に努める計画である。 ・朝・夕の周辺交通量が多くなる時間帯には、極力工事用車両の走行を控える。 ・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の車両の通行に支障を与えないように配慮する。 ・工事用車両の走行に当たっては、安全走行の徹底、市街地での待機や違法駐車等をすることがないように、運転者への指導を徹底する。 ・工事作業員の通勤に際しては、極力公共交通機関を利用する等通勤車両の削減に努めるよう指導する。 ・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森（有明コロシアム改修工事を含む）を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。

8.3.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.3.3 調査手法

調査手法は、表 8.3-2 に示すとおりである。

表8.3-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項		工事用車両の走行に伴う交通渋滞の発生又は解消等、交通量及び交通流の変化の程度
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

8.3.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

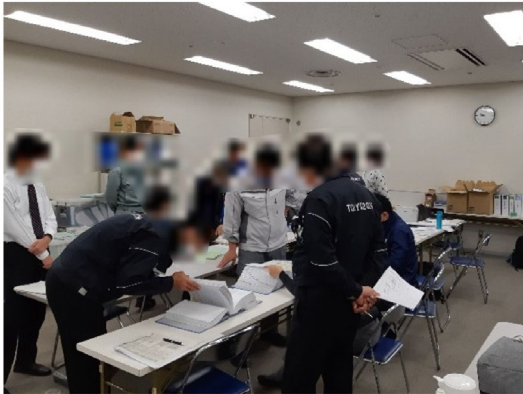
1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.3-3(1) 及び(2)に示すとおりである。なお、交通渋滞に関する問合せはなかった。

表8.3-3(1) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・工事用車両の走行ルートは、有明北地区の他の会場等の建設も踏まえ、交通渋滞による影響を軽減するため、沿道に比較的住居等が存在しない湾岸道路等を極力利用する計画とする。
実施状況	朝礼等を通じて、運転者には、湾岸道路等を極力利用するなどの走行ルートに関して事前指導し、交通渋滞による影響を低減するように努めた。  朝礼の様子
ミティゲーション	・工事用車両の集中稼働を行わないよう、可能な限り工事工程の平準化に努める計画である。
実施状況	工事用車両(主にダンプトラック等)の総量を確認し、工事用車両の集中を避けた平準化した工程とした。
ミティゲーション	・朝・夕の周辺交通量が多くなる時間帯には、極力工事用車両の走行を控える。
実施状況	工事工程を調整することにより、朝(7時～9時)・夕(16時～18時)の周辺交通量が多くなる時間帯には、極力工事用車両の走行を控えた。

表8.3-3(2) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の車両の通行に支障を与えないように配慮する。
実施状況	工事用車両が出入りするゲートには、交通整理員を配置し、計画地周辺の車両の通行に支障を与えないよう配慮した。  交通整理員
ミティゲーション	・工事用車両の走行に当たっては、安全走行の徹底、市街地での待機や違法駐車等を行うことがないよう、運転者への指導を徹底する。
実施状況	工事用車両は極力施工ヤード内に誘導するとともに、工程会議等で周辺市街地での待機や違法駐車防止の徹底について指導を行った。
ミティゲーション	・工事作業員の通勤に際しては、極力公共交通機関を利用する等通勤車両の削減に努めるよう指導する。
実施状況	朝礼等で工事作業員の通勤には極力公共交通機関を利用するよう指導を行った。
ミティゲーション	・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森（有明コロシアム改修工事を含む）を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。
実施状況	工事に先立ち、周辺の教育施設等への工事説明を行い、理解を求め、場外での駐車禁止を徹底した。 工程会議等を通じて、工事用車両が一時的に集中しないよう工事用車両の走行ルートの徹底に努めた。また、朝礼等を通じて、工事用車両が集中しないよう改めて周知・徹底した。  工程会議の様子

8.4 交通安全

8.4.1 調査事項

調査事項は、表 8.4-1 に示すとおりである。

表 8.4-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	・工事用車両の走行ルートは、計画地までの歩行者の交通安全への配慮のため、極力、湾岸道路等を利用する。 ・工事用車両の走行ルートは、通学路に指定されている特別区道 江615号及び江616号を利用しないほか、かえつ学園西交差点に進入する際は、歩行者、自転車の安全確認を行う等安全走行を徹底し、児童の登下校に配慮する。 ・歩行者、自転車、一般車両等の優先、交差点進入時や右左折時における歩行者、自転車の安全確認について、工事用車両運転者に対する指導を徹底し、児童及びその保護者、その他歩行者の交通安全に配慮する。 ・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。 ・工事用車両の走行にあたっては、安全走行を徹底する。 ・工事用車両の集中稼働を行わないよう、可能な限り工事工程の平準化に努める計画である。 ・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森（有明コロシアム改修工事を含む）を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。

8.4.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

8.4.3 調査手法

調査手法は、表 8.4-2 に示すとおりである。

表8.4-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項		アクセス経路における歩車動線の分離の向上又は低下等、交通安全の変化の程度
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事中の適宜とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料の整理による方法とした。

8.4.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.4-3 (1) 及び (2) に示すとおりである。なお、交通安全に関する問合せはなかった。

表8.4-3(1) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・工事用車両の走行ルートは、計画地までの歩行者の交通安全への配慮のため、極力、湾岸道路等を利用する。
実施状況	朝礼等を通じて、運転者には、湾岸道路の使用など走行ルートの限定に関して事前指導し、交通安全に配慮した。  朝礼の様子
ミティゲーション	・工事用車両の走行ルートは、通学路に指定されている特別区道 江 615 号及び江 616 号を利用しないほか、かえつ学園西交差点に進入する際は、歩行者、自転車の安全確認を行う等安全走行を徹底し、児童の登下校に配慮する。
実施状況	工事用車両の走行ルートとして特別区道 江 615 号及び 616 号を利用しない計画とした。また、かえつ学園西交差点に進入する際には、歩行者、自転車の安全確認を行う等安全走行を徹底し、児童の登下校に配慮した。
ミティゲーション	・歩行者、自転車、一般車両等の優先、交差点進入時や右左折時における歩行者、自転車の安全確認について、工事用車両運転者に対する指導を徹底し、児童及びその保護者、その他歩行者の交通安全に配慮する。
実施状況	朝礼等を通じて、歩行者、自転車、一般車両等の優先の徹底、交差点進入時、右左折時における歩行者、自転車等の安全確認の徹底等運転者へ指導を行い、一般歩行者の交通安全に配慮した。

表8.4-3(2) ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・工事用車両の出入口には交通整理員を配置する予定とし、計画地周辺の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮する。
実施状況	工事用車両が出入りするゲートには、交通整理員を配置し、一般歩行者の通行に支障を与えないよう配慮した。  交通整理員
ミティゲーション	・工事用車両の走行にあたっては、安全走行を徹底する。
実施状況	朝礼等を通じて、規制速度の厳守、安全走行の徹底等、運転者へ指導を行った。
ミティゲーション	・工事用車両の集中稼働を行わないよう、可能な限り工事工程の平準化に努める計画である。
実施状況	工事工程を調整することにより、工事用車両(主にダンプトラック等)の総量を確認し、工事用車両の集中を避けた平準化した工程とした。
ミティゲーション	・工事用車両の走行に伴う、教育施設や周辺市街地への影響を極力軽減するため、計画地周辺において同時期に行われる有明アリーナ、有明体操競技場及び有明テニスの森(有明コロシアム改修工事を含む)を含む周辺事業者の工事用車両の走行ルート及び予定台数の情報を参考にし、工事用車両が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める計画としている。
実施状況	工事に先立ち、周辺の教育施設等への工事説明を行い、理解を求め、場外での駐車禁止を徹底した。 工程会議等を通じて、工事用車両が一時的に集中しないよう工事用車両の走行ルートの徹底に努めた。また、朝礼等を通じて、工事用車両が集中しないよう改めて周知・徹底した。  工程会議の様子

8.5 その他の項目に係るミティゲーションの実施状況

8.5.1 土壌

工事の実施に伴い新たな汚染土壌は確認されなかった。

8.5.2 史跡・文化財

工事の実施に伴い新たな史跡・文化財は確認されなかった。

本書に掲載した地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図を使用したものである。

本書に掲載した地図は、国土地理院長の承認（平24関公第269号）を得て作成した東京都地形図（S=1：2,500）を使用（3都市基交第145号）して作成したものである。無断複製を禁ずる。

令和4年2月発行

登録番号 (03) 145

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

フォローアップ報告書（大会開催後）

（IBC/MPC）

編集・発行 東京都オリンピック・パラリンピック準備局
大会施設部調整課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03(5320)7737

内容についてのお問い合わせは上記へお願いします。

